



研究者名※	酒井晃	学位※	博士(史学)
所属※	人間社会学部 現代社会学科	職名※	助教
連絡先	sakaia@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/menma		
研究分野※	日本史 ジェンダー		
研究キーワード※	近現代史 セクシュアリティ クイア・スタディーズ		
共同研究・競争的 資金等の研究課題			
社会貢献・産学官 連携活動等			
受賞歴			

研究領域	日本史 近現代史 ジェンダー セクシュアリティ クイア・スタディーズ	(SDGs)	
研究テーマ※	近現代日本におけるセクシュアル・マイノリティへの排除と包摂		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 近年、LGBTQ運動が展開され、その結果、「同性婚」問題やトランスジェンダーに対する社会的な受入れが議論されるに至っている。そうした背景は日本社会の変化として捉えることができるが、歴史的な変遷がいかなる形でなされたのかは、いまだ充分とはいえない。本研究は歴史的な視点を通じて、セクシュアル・マイノリティの包摂と排除の問題を考察する。具体的には雑誌資料や書籍を分析することで、それらを明らかにする。</p> <p>【応用例、研究の展望】 本研究は近現代の日本におけるセクシュアル・マイノリティの捉え方、扱われ方を検討することで、性別・性的指向にかかわる差別や偏見の論理をとらえ、それを乗り越える視点を獲得することができる。加えて、日本における他のマイノリティの差別や偏見との共通性や差異性を見つけることで、日本社会の差別構造の解消に寄与できると考える。</p> <p>【研究方法の特色】 書籍や雑誌の文字史料を扱うとともに、聞き取りを多用することで、歴史をより動的に把握することができる。</p>		
本研究関連 特許・論文等	・「戦後日本における男性同性愛への「寛容」と嫌悪」(2015年度博士論文)		
共同研究・外部機関 との連携への期待			